

2 名詞を中心にした遊び方 さらに変化をつけて

それでは名詞を中心にした漢字遊びにもっと変化をつけたものに移りましょう。数十かそれ以上の漢字が読めるようになったら、次のようなゲームをして楽しんでみてください。

サイコロゲーム

漢字カードがすっぽり入るような箱を六つ用意します。各々の箱に(1)から(6)まで番号をふっておき、中にカードを均等の量にして入れておきます。

そこでサイコロをふり出します。(1)と出たら(1)の箱の中の漢字を取り出して読ませてみます。たまには攻守ところを変えて、お母さんが、子どものふったサイコロの数に合わせて箱の中のカードを読みあげてみましょう。

もし、近所の子どもたちが遊びにきていたり、あるいは家族も一緒になって、人数が六人いたら、各々(1)から(6)までの番号札を持っていて、順番にサイコロをふって、数が出たら、その数に該当する番号札を持つ人が、重ねてある漢字カードを読んでいくのもおもしろいでしょう。みんなでワイワイガヤガヤと騒ぎながら楽しくゲームができます。

置きかえ遊び

なるべくジャンルの違う漢字カードを五、六枚用意します。まず子どもにこのカードを見せて読みあげさせます。そのあとカードを一行に並べ、順番をよく覚えさせ、後ろを向かせてからカードの順番をサッと

変えてしまいます。ふりむいた子どもに、カードを元の順序に並べ直しをさせるわけです。大きい声で読みあげるように、ゆっくりとやらせてみましょう。二、三回別なカードを使って遊んだあと、もし間違っただけのカードが数枚になったら、今度はそのカードだけを取り出して並べ、同じように繰り返してみよう。その次にはきつと順序通りに並べ、記憶もより深まるというものです。

“あ”の字のつく漢字はどれ

文字通り、(あ)の字のつく漢字を探す遊び。最初は(あ)と(い)の二種類のカードを使ってみましょう。

用意するカード 雨、足、頭、大、池、石

箱を二つ用意して、それぞれに(あ)と(い)のつく漢字を選ばせて箱に入れます。

これではすぐに終わってしまいますが、まずは遊び方をのみ込んでもらうため。慣れたら、(あ)(い)(う)(え)(お)の五種類にトライしてみよう。五つの箱を用意し、それぞれに(あ、い、う、え、お)と書いておきます。

そして次の(例)のような漢字をバラバラに並べておいて、それを、あいうえお順に箱に入れていきます。

(例)

(あ).....雨・足・頭

(い).....犬・池・石

(う).....海・兎・馬

(え).....鉛筆・駅・煙突

(お).....女の子・男の子・弟

さらに手を加えて、仲間はずれの要領を含める遊びもできます。

(あ)の仲間にあの字のつかない漢字をまぜておいて、「(あ)の字のつかない漢字はどれ?」と、違う漢字を拾わせます。

文字隠しゲーム

お母さんが漢字カードを何枚か手に持って子どもに見せるのですが、漢字を全部見せずに、カードを少しずつずらして、上申横の方を一部分出します。少しずつ見せていって、「ハイッ何の字かな」と当てさせる遊びです。興味をそそられて、子どもはジッとカードを凝視。わかると叫ぶようにして読みあげます。当てたら「良くできたわね」と必ずほめてあげてください。

フラッシュゲーム

漢字学習の実践園では、必ずといっていいほど、この遊びをやっています。漢字を相当数、間違いなく読めるようになったらぜひ試してみてください。カメラのフラッシュがパッパッと点滅するように、子どもに漢字カードを一瞬のうちに読み取らせる遊びです。2、30枚のカードを持って、トランプの札をきるようなスピードで次々に漢字を見せ、瞬時に読ませます。カードをめくる間隔を長く取らず、サッサッとリズムに乗せてどんどん見せてください。子どもは、よく読める漢字ですと「犬、猿、熊、雨、雲、海.....」と、驚くような速さで読みあげることができます。

歌詞探しゲーム

いよいよ名詞を中心にした遊びの最後となります。このゲームは、

子どもの大好きな歌をお母さんと一緒に歌いながら、歌詞の一部を漢字カードで探すというもの。最初は余りテンポが速くなく、子どもが良く知っている漢字が歌詞に使われている歌で遊んでみましょう。名詞に限らず、漢字への理解が深まり、よく読める漢字の数が増えていくにしたがい、テレビ番組の主題歌でも流行歌でも、楽楽と一そうゆかいに遊べるようになるでしょう。

少し例をあげましょう。 の中がカードで探す漢字です。子どもの前にこれらのカードを並べてお

いて、まず歌う前に一通り読めるかどうかを確認してください。それからゆっくり歌いながら、子どもに歌詞に該当するカードを拾わせます。最初はお母さんがお手本を見せてあげると良いでしょう。

(例) 童謡「象さん」

象さん象さん

お鼻が長いのね

そうよ母さんも長いのよ

象さん象さん

だれが好きなの

あのね母さんが好きなのよ

漢字は「象、お鼻、母さん」の三つだけしか出てきませんが、「長い、好き」なども読めるようになったら、それを取り入れてやってみてください。

(例) 唱歌「月」
 出た出た 月が
 丸い丸い まん丸い
 盆のような月が

かくれた 雲に
 黒い黒い まっ黒い
 墨のような 雲に

また出た 月が
 丸い丸い まん丸い
 盆のような 月が

ここでは「月、雲」を漢字で探してみます。もちろん、「盆、墨」が読めればそれを織り込んでみてください。

漢字で遊べる歌はいくらでもあります。このようにしてお母さんと子どもと一緒に歌うのにぴったりで、出てくる漢字も比較的覚えやすい歌として、石井先生がピックアップされたものとしては、以下の歌があります。参考にしてください。

「チューリップ」 咲いた 咲いた チューリップの花が.....

「海」 海は広いな大きいな 月が昇るし 日が沈む.....

「たき火」 かきねの かきねの 曲り角 たき火だ たき火だ 落葉たき.....

「かもめの水兵さん」 かもめの水兵さん 並んだ水兵さん.....

「ままごと」 ままごとしましょう 花シャベル.....

「仲よし小道」 仲よし小道は どの道 いつも学校へ みよちゃん.....

「夕日」 ぎんぎんぎらぎら 夕日が沈む ぎんぎんぎらぎら 日が沈む.....

「雪」 雪やこんこ あられやこんこ 降っては降っては.....

「サッチャン」 サッチャンはね サチコっていうんだ本当はね...

...

「春よ来い」 春よ来い 早く来い 歩き始めたみいちゃんが.....

「赤とんぼ」 夕焼け小焼けの 赤とんぼ 負われて見だのは いつの日か.....

「どこかで春が」 どこかで春が 生まれてる どこかで水が 流れ出す.....

「青い目の人形」 青い目をした お人形は アメリカ生まれのセルロイド.....

「ペチカ」 雪の降る夜は楽しいペチカ ペチカ燃えるよ お話しましょ.....

「七つの子」 烏なぜ鳴くの 烏は山に かわいい七つの子があるからよ.....

「赤い靴」 赤い靴はいてた女の子 異人さんにつれられて行った.....